令和元年度 大阪府農業振興地域整備審議会　議事概要

日時：令和元年８月２６日（月）午後３時から

　　　場所：国民会館武藤記念ホール　小ホール

**第１号議案　府営農村総合整備事業「岸和田丘陵地区」の建設事業再評価**

〔事務局説明〕

* 建設事業評価の再評価の趣旨を説明。
* 評価調書に沿って、事業計画変更の概要、事業費変動の要因、投資効果、今後のスケジュール等について説明。

〔主な質疑〕

* 再評価がこの時期になった理由は何か。（中谷委員）
* 本地区では、平成25年から事業着手しているが、本格的な工事を実施したのはここ2、3年で、排水路の変更や湧水の問題等が判明したため、事業計画を変更する前にご審議をいただいたところ。（事務局）
* 評価の方法について、当初と同等の効果項目で便益効果を算定し、新しく追加した項目をかっこ付きで記載してはどうか。（塚口委員）
* 追加した項目については、国にどの様に取扱いするべきか確認し、本日お示ししたような形なのか、かっこ書きとするのか、国のマニュアル等を確認したうえで対応させていただく。（事務局）
* 事業費が増した理由について、説明責任という点でどの資料がどこまで出ていくことになるのか。このパワーポイントを見ればわかるので、資料の出し方をもう少し工夫してはどうか。（藤田委員）
* 基本的には、大阪府の他地区の建設事業評価と同様に、この点検表を建設事業評価の資料として公表する予定です。一方、これだけでは分かりにくいというご意見もいただきましたので、参考資料という形でパワーポイントも付して公表していきたいと考えています。（事務局）
* 例えば、第1号議案の右側の事業費の変動要因の状況では、幹線排水路工による整備で1.7億円増のみ記載されてあるが、パワーポイントで示されているように記載することは可能か。（増田会長）
* 委員ご意見のとおり、パワーポイントと同じ内容で記載する方向で考えます。（事務局）
* 今回再評価をして、今後これ以上は、事業費が大きくなるとか、事業工期が伸びるという事は無いと考えてよいか。（中村委員）
* 現時点では、この事業費、工期で実施していきます。（事務局）
* 大阪府はこれ以上増えないという感じの話をされているが、土木工事であれば土を動かす中で色々なことが起こり、その度に設計変更が生じ、事業費が増となることはよくあること。土木工事は予測することが難しい部分が多々あるので、事業費がこれ以上増えないと言い切るのはどうかと思う。（若林委員）
* 本日ご審議いただきましたが、現時点では、この事業費、工期で事業完了できるように努めることで、ご理解いただきたいと思います。（事務局）

〔評価結果〕

* 対応方針案のとおり、事業の必要性については変化がなく事業効果が認められ、また計画的な事業執行により、事業費ベースに見合った事業進捗も図られていることから、事業効果の早期発現を目指し、「事業継続」とする。
* 公表資料については、本日の資料を一部修正することとするが、その内容については会長一任とする。

**報告事項　おおさか農政アクションプラン評価・点検部会について**

〔事務局説明〕

* H30年度の取組み、KPI見直し案について説明。

〔主な質疑〕

* あすかてくるでの２店舗は年18億円の売上があるが、高齢化で出荷者が減少傾向にある。高齢化で出荷できず、直売所が集荷せざるを得ない実態を知ってほしい。今後の売上減の要因となるかもしれない。
* 大阪は基盤整備が進んでいないところが多い。小規模農家が経営する農地で基盤整備ができるようにしてほしい。
* 使いにくい遊休農地はJAが管理してほしいと農家から依頼されている。JAが取り組むしかないと思うが、支援をお願いしたい。（中谷委員）
* 都市農業振興基本法の策定等、国が都市農業に注目しており、農振・農用地以外でも調整区域・生産緑地でも実施できるよう事業が拡充された。足りない部分があれば、さらに国に事業を要望していく。なお、区画整理については国に要望しているところ。（事務局）
* 高齢化で出荷できなくなり集荷を検討するが、コストや集荷方法で議論がまとまらず前に進まない。
* ハクビシンを捕まえたが、有害鳥獣ではないため市が駆除してくれなかった。鳥獣被害が増えているので、有害鳥獣に指定するなど対策強化をしてほしい。（佐竹委員）
* アライグマについては動物愛護畜産課が生息・実態調査を行っており、同課と連携して、防止柵の補助や、JA・市町村の職員対象とした地域で対策を指導できる人材育成研修を行い、地域に合った鳥獣害対策を支援していく。
* ハクビシンについても動物愛護畜産課と連携し、状況把握や対策できる部分については支援を行っていく。（事務局）